

「すごい動物！研究発表大会」を開こう！

「ビーバーの大工事」なかがわ しろ 文

指導者 榎原 宏樹（1組） 本明 沙緒里（4組）

- 1 日 時 平成29年11月24日（金）
- 2 学 年 第2学年1組 32名 4組 31名
- 3 単元について

【単元観】

本単元は、学習指導要領解説国語編第1学年及び第2学年「C読むこと」の目標（3）「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」を受け、指導事項イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」を中心に指導していく。本単元では大事な語や文を探しながら、事柄の順序に気を付けて文章を読む能力を育むことをねらいとした。

【教材の特性】

本教材は、特徴あるビーバーの生態について、体の構造や機能と関連させて説明した文章である。

この教材の特性は、3点ある。1つ目は、「ビーバーの『大』工事」という特徴的な題である。2つ目は、「木を切りたおすビーバー」「ダムを作るビーバー」「すを作るビーバー」という三つの意味段落を見出しで明示していることである。3つ目はビーバーのダムや巣を作る順番に、ビーバーの知恵が読み取れることである。

それぞれの意味段落ごとに、どこが『大』工事なのかを視点に大事な語や文をつなげて読んだり、順序の意味を関連付けて読み取ったりすることのできる教材である。

【児童観】

観 点	内 容	定 着 率
読 む (読書事項)	○大事な語や文を書き抜く。	約66%
	○事柄の順序(並び替え)	約77%
書 く・対 話 する	○自分の考えをもち、理由を付けて表現することができる。	約50%
	【アンケート】 ○ペアやグループの友達と意見を交流することができる。	約87%
	○クラス全体の中で自分の考えを交流することができる。	約78%
	○友達の意見を自分の意見を広げたり、深めたりすることに活かすことができる。	約83%
分 析	文章の中の大事な語や文を書き抜き、事柄の順序を考えながら内容を読むことを継続的に指導していくことで、さらなる向上を図らなくてはならない。 自分の考えはもっているが、理由を付けて表現することが難しい児童がいる。自分の考えをもつ上でどの言葉に着目したのか明確にさせていく必要がある。 全体での交流の場で自分の考えを伝えることに自信のない児童がいる。全体で自分の考えを発表する機会を必然的に設け、自信をもって発表する体験をさせる必要がある。	

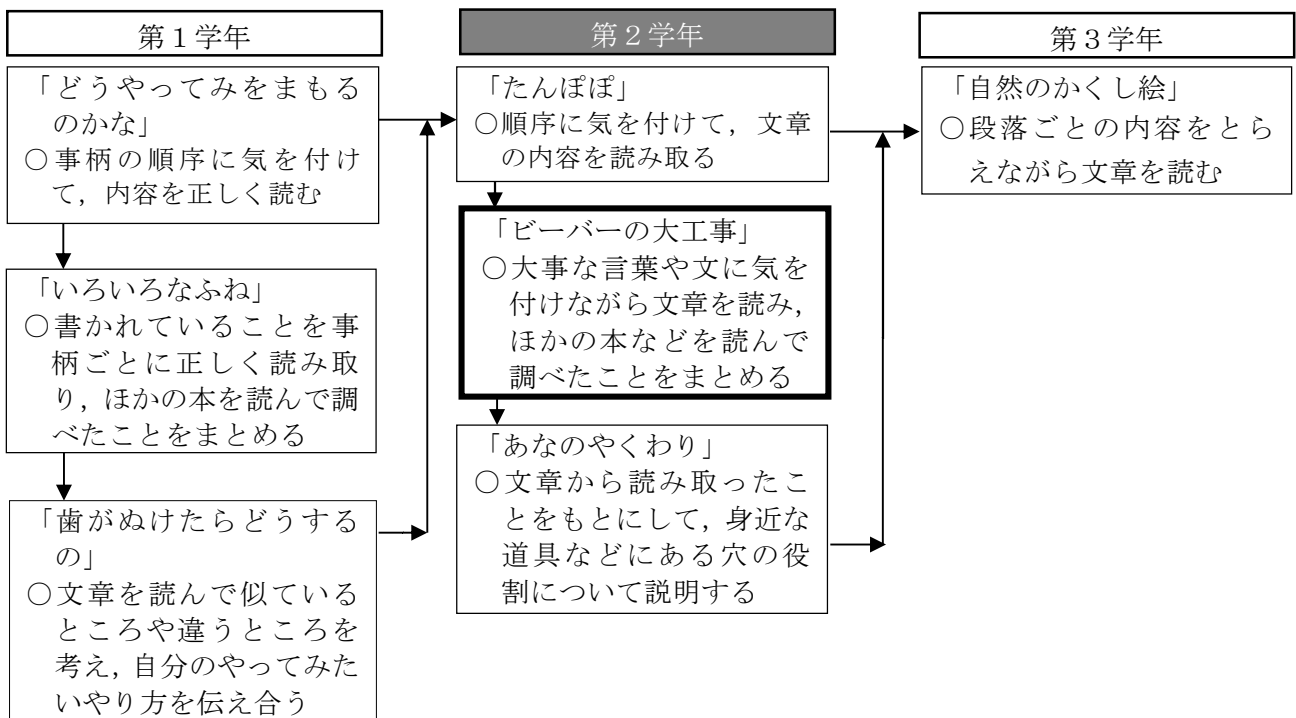
【育てたい資質・能力】

知識・理解	事柄の順序に着目した読み方の理解
思考・判断・表現	大事な語と語や、順序立てられた事柄どうしを関連付ける力
主体的に学習に取り組む態度	自分の考えを伝え合うことで、集団としての考えを発展・深化させようとする態度

**【指導観】**

単元について	一時間ごとの授業について
<p>○単元のゴールとして、「すごい動物！研究発表大会」をする活動を設定する。単元を通して、「動物のすごさは何に着目し、どのように紹介すればよいのか」という課題意識をもたせ、筆者の述べ方に着目しながら読むようにさせていく。</p> <p>○大事な語や、順序に気を付けて読み取り、順序の意味を考えることに重点を置く。そして、二次の中で教材文をもとに研究発表資料を作る練習をし、三次の自分で選んだ動物による研究発表資料を作り、「すごい動物！研究発表大会」をする活動につなげていく。</p> <p>○研究発表会は5年生に向けて行うことにし、相手意識をもたせるようにする。また、教室に関連図書を設置し、並行読書ができるようにしておく。</p>	<p>○ビーバーや身近な動物に興味をもたせる活動を通して、動物のすごいところを見つけ、紹介するという学習の見通しと意欲をもたせて、文章を読み進めていく。その際、事柄の順序を表す言葉に注意したり、大事な語を使って短く文にまとめたり、挿絵と文章を組み合わせたりしながらまとめさせていく。</p> <p>○これまでの学習した読み方を活用させながら学習を進めていくようにする。具体的には、「木を切りたおすビーバー」では、文章の中の大事な語や文を書き抜く力を、「ダムをつくるビーバー」や「すを作るビーバー」では、順序に気を付けて、文章の内容を読み取る力を活用させるようにする。</p> <p>○ダムの作り方や巣の作りなどを、図や絵を使って表現させることで、順序の意味について考えやすくする。</p>

**【他学年との関連】**



**4 単元の指導目標**

- ビーバーや他の動物に関心を持ち、進んで文章を読んだり、本を読んで調べたことをまとめたりしようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- ◎大事な言葉や、事柄の順序に気を付けて読むことができる。(読むことイ)
- 主語と述語の関係に注意することができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ))

## 5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
ビーバーやほかの動物に関心をもち、進んで本を読んで調べたり、読み取った動物の特徴等を発表資料にまとめたりしている。	伝えたいことを中心となる大事な語を見つけたり、事柄の順序とその意味を読み取ったりしている。(イ)	文の中における主語と述語の関係に注意している。  (イ (カ))

## 6 単元のGOAL

パフォーマンス 課題	5年生に向けて「すごい動物！研究発表大会」をするために、本を読んで調べた動物のすごいところをまとめて、動物のすごさや知恵が分かる研究発表資料を作ろう。		
評価 規 準	A	B	C
	研究発表資料を作るときに、大事な語や事柄の順序を意識するとともに、 <u>結論に動物に対する、自分の考えを加えている。</u>	研究発表資料を作るときに、大事な語や事柄の順序を意識している。	研究発表資料を作るときに、大事な語や事柄の順序を意識せず、書き抜くだけになっている。

[パフォーマンスモデル] (B規準)



かりをするライオン  
これから、ライオンについて、けんきゆうをしたことをはつびようします。  
ライオンの体には、三つのすごいところがあります。一つ目は、つめです。とてもするどいつめがあります。このつめで、えものをおしたおしたり、地面をつよくけてえものをおいかけてたりします。二つ目は、キバです。じょうぶなキバがあります。このきばで、えものにかみつき、えもののをとめます。三つ目は、耳です。この耳は、どんな小さな音でも聞こえるので、えものがどこにいるのかすぐにわかります。

ライオンは、これらの体のすごいところをつかって、きょう力してかりをします。まず、二つ目のメスのライオンが、見つからないように、草むらにかくれてまちぶせをします。つぎに、地めんをはうようにして、えものうしろにまわりこみます。そして、えもの目をかけて、草むらからとび出します。さいごに、口とはなにかみつき、えものをとめ、つめをたてて、えものをつかまえます。  
えものに見つからないように、うしろにまわりこんでかりをするライオンは、「かりたつ人！」ということができます。

## 7 単元の指導計画（全9時間扱い）

次	学習活動（時数）	評 価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
一	・題名の『大』はいるかいないか考え、大まかな内容をつかむ。（1）		○		・題名に関係する語や文を見つけて、大まかな内容をとらえている。	観察 発言 ノート
	・ビーバーはどのような動物といえるか考え、「すごい動物！研究発表大会」を行う計画を立てる。（1）	○			・「すごい動物！研究発表大会」をする上で動物を紹介する視点を持ち、5年生に紹介することに意欲的に取り組もうとしている。	観察 発言 ノート
二	・[木を切りたおすビーバー]の中から、ビーバーの体のつくりを読み取る。（1）		◎	○	・文章の中から、ビーバーの体のつくりを見つけ、大事なところを短い言葉でまとめている。 ・文の中における主語と述語の関係に注意している。	観察 発言 ノート
	・[ダムをつくるビーバー]の中から、ダム作りのすごいところを考える。 【4組本時】（1）		○		・ダムの作り方の順序とその意味について読み取ったことを、絵や短い文を使ってまとめている。	観察 発言 ワークシート
	・[すをつくるビーバー]の中から、巣作りのすごいところを考える。 【1組本時】（1）		○		・ビーバーの巣作りの工夫について、作る順序や目的に着目しながら絵と言葉でまとめている。	観察 発言 ワークシート
三	・ビーバーの研究資料を参考にして、他の動物の研究発表資料を作る。（2）		○		・動物の体のつくりと、動物の生態のすごいところを、大事な文や言葉、順序に着目して読んでいる。	観察 発言 作品
	・「動物研究発表大会」をする。（1）		○		・大事な語や事柄の順序を視点に、友達の発表を評価したり、身に付いた力として振り返ったりしている。	発言 作品
	・発表を振り返りながら、単元で付いた力を振り返る。（1）	○			・動物のすごいところを紹介する時に、大切な語を見つけたり、順番の意味を考えたりしながら発表できたかどうかを振り返っている。	観察 発言

### 【評価問題】（読み・書きの技能）

「なにができるかな」なかむらともひこ（三省堂 1年下 平成27年度版）

○えんぴつが作られるじゅんにあわせて、ばんごうを書きましょう。

（解答例）

- （ 3 ） いたにのりをぬり、みぞにしんをはめこみます。上からもうまいいたをかさねて、はりあわせませ。
- （ 1 ） ねん土と黒えんに、水をくわえてまぜあわせ、ほそながい形にして、やきます。これがしんになります。やきあがったしんに、あぶらをしみこませて書きやすくします。
- （ 4 ） はりあわせたいたを、えんぴつの形にけずり、一本一本きりはなして、色をぬります。
- （ 2 ） 木のいたに、しんの太さにあわせたみぞをほります。
- （ 5 ） えんぴつのかんせいです。

## 8-1 本時の展開（4組）

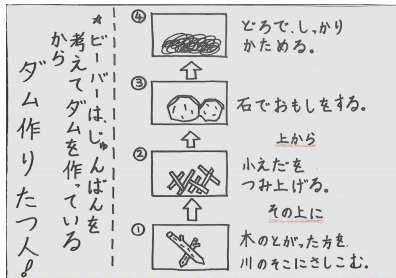
### （1）本時の目標（第4時／全9時）

ダム作りのすごいところを考えることを通して、ダム作りについての大切な語やその順序の意味を読み取り、まとめることができる。

### （2）評価規準

ダムの作り方の順序とその意味について読み取ったことを、絵と短い文を使って資料にまとめている。

#### 本時で目指す子どもの姿（本時の goal）



#### 【ポイント】

- ・絵を正しい順序に並べている。
- ・絵と短文が正しい組み合わせになっている。

### （3）本時の学習展開

学習活動 ◆指導内容	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ◎評価（評価方法）
1 ビーバーの体のすごいところを振り返りながら、めあてをつくる。	<p>○ビーバーの体には、どんなすごいところがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・するどくて大きな歯・オールのような尾</li> <li>・じょうぶな水かきがある後ろ足</li> </ul> <p>○そのような体を活かした、ビーバーのダムの作り方もすごいですか。</p>	<p>◇掲示物を参考にして、思い出させる。</p> <p>◇すごいところがたくさんあったかと切り返すことで学習意欲を引き出し、めあてにつなげていく。</p>
<b>ダムの作り方のすごいところを見つけよう。</b>		
2 [ダムを作るビーバー]を音読し、すごいところを見つける。	<p>○<u>ダム作りのすごいところはどこですか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木のとがった方を川の底にさしこんで、流れないようにするところです。（関連付ける）</li> <li>・小枝や石をつんで、泥でしっかり固めるところです。（関連付ける）</li> <li>・家族総出で、ダムを作っているところです。（関連付ける）</li> <li>・川岸の端から端まで作っているところです。（関連付ける）</li> <li>・ダムの長さが、高さ2メートル、長さ450メートルあるところです。（関連付ける）</li> </ul> <p>→川の水をせき止める、立派で丈夫なダム</p>	<p>◇教材文の大事なキーワードとなる部分に線を引かせる。</p> <p>◇ペアや全体交流を入れることで、ビーバーのすごいところをたくさん出させる。</p> <p>◇すごいところを整理しながら、立派なダムを作るための過程に着目させていく。</p>

<p>3 ダム作りの順番のすごいところを見つける。</p> <p>◆順序の意味や重要な語を繋げて読む</p> <p>4 まとめをする。</p> <p>5 振り返りを書く。</p> <p>6 次時の学習を見通す。</p>	<p>○川の水をせき止められるのは、なぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泥が最初だと、泥が流れてしまって、ダムを作ることができません。(関連付ける)</li> <li>・木や小枝だけでなく、最後に泥を使って固めているから、しっかりとしたダムができます。(関連付ける)</li> </ul> <p>○資料を整理しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーバーは、順番を考えてダムを作っているから、ダム作り達人！</li> </ul> <p>○「友達と話し合っって良かったこと」を振り返りましょう。</p> <p>○次の時間は、「すを作るビーバー」を読んでいきます。どんな巣をどのように作っていくのか、考えましょう。</p>	<p>◇板書を整理しながら、ダムを作る順番のつながりに着目させ、順序の意味を考えさせていく。</p> <p>◇読み取ったことから、ダムを作るビーバーのすごさを、「○○達人！」という言葉でまとめさせる。</p> <p>◎ダムの作り方の順序とその意味について読み取ったことを、絵や短い文を使ってまとめている。(観察、発言、ワークシート)</p> <p>◇次時では、巣作りのすごさについて考えることを伝える。</p>
---	--	---

**(4) 板書計画**

③

ビーバーは、じゅんばんを考えてダムを作っているから、

ダム作りたっ人！

ビーバーのかしこさ

①

どろでしっかりと  
かためる

②

石でおもしろ  
をする


④

小えだをつみ  
上げる

⑤

木のとがった  
方を川のそ  
こにさしこ  
む

へダム作りへ



⑥

ビーバーの  
大工事

なかがわ しろう

ダム作りをするビーバーのすごいところを見つけよう。

たっ人

・木のとがった方を、川のそこにさしこんで、ながれないようにする。

・小えだや石をつんで、どろでしっかりとかためる。

・家ぞくそう出で、ダムを作る。

・五分間から十五分間も、水にもぐっていることができる。

## 8-2 本時の展開（1組）

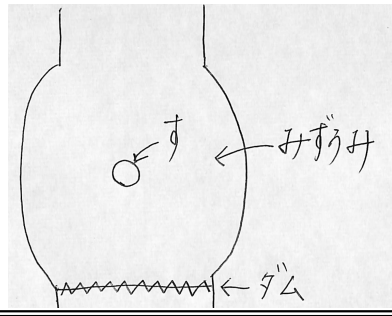
### （1）本時の目標（第5時/全9時）

「ダム」「湖」「巣」の関係について考えることを通して、巣ができるまでの順序とその目的を関連付けて読み取り、まとめることができる。

### （2）評価規準

ビーバーの巣作りの工夫について、作る順序や目的に着目しながら絵と言葉で資料にまとめている。

#### 本時で目指す子どもの姿（本時の goal）



・ビーバーは、泳ぎが上手ではない敵が巣に入れないようにして、安全な巣になるよう工夫しています。そのために、まずダムでみずうみを作り、巣はみずうみの真ん中に作っています。

### （3）本時の学習展開

学習活動 ◆指導内容	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ◎評価（評価方法）
1 ビーバーのダム作りと巣作りを比較して、めあてをつくる。	○ビーバーにとって、ダム作りは大工事でしたか。 ・大工事でした。とても大きいダムを作るし、家族総出で頑張るからです。 ○では、ビーバーにとって、巣作りも大工事ですか。	◇ビーバーのダム作りの苦労や、作る上での知恵を想起させる。  ◇どちらかを判断させながら、考えのズレを演出してめあてを設定する。
<b>ビーバーにとってすを作ることは「大工事」なのだろうか？</b>		
2 ビーバーにとってダム作りと巣作りの関係について考える。	○ <u>ビーバーにとってダムをつくることと巣をつくることでは、どちらが大工事なのだろうか？</u> ・ダム作りです。ダムができないと湖が作れず、巣もできないからです。（評価する） ・巣作りです。敵に襲われない安全な巣を作っているからです。（評価する）	◇児童の発言を整理する中で、ダムを作ることで湖ができ、その中に巣ができることで敵から身を守っていることに気付かせ、それぞれの関係性に議論を焦点化していくようにする。
3 ビーバーの作った「ダム」「湖」「巣」の関係を図で表し、その工夫を見つける。	○ <u>だったら、「ダム」「湖」「巣」を、空から見た図にするとどうなるでしょう。（巣の位置や大きさはどうなっているのだろうか。）</u> ・巣は湖の真ん中の方で小さくないといけま	◇ペアに一枚のワークシートを配り、簡単な図を協働的に描かせるようにする。  ◇巣の大きさや位置に着

<p>◆順序の意味や、重要な語をつなげて読む</p> <p>4 読み取ったことをもとに、まとめる。</p> <p>5 振り返りを書く。</p> <p>6 次時の学習を見通す。</p>	<p>せん。そうしないと、せっかく湖の中で敵から守るように作ったのに、陸から敵が襲ってくる巣になってしまうからです。(関連付ける)</p> <p>・泳ぎの上手なビーバーだけが安全に生活できるようにするために、島のような巣にしているのだと思います。(関連付ける)</p> <p>○話し合ったことを踏まえて、ビーバーの巣の図とそのすごさをまとめましょう。</p> <p>・まずダムで湖をつくってから、巣を作ることと敵に襲われない安全な巣を作っていることが賢い。</p> <p>○「友達と話し合っって良かったこと」を振り返りましょう。</p> <p>○次の時間からは、ビーバーの大工事で身に付いた力を活かして、他の動物のすごいところを発表する準備をしていきましょう。</p>	<p>目させ、どれが適切な図か検討する中で、ビーバーの巣作りの工夫と、敵に襲われないという目的を関連付けながら読み取れるようにしていく。</p> <p>◎ビーバーの巣作りの工夫について、作る順序や目的に着目しながら絵と言葉でまとめている。(観察、発言、ワークシート)</p> <p>◇次時で身に付いた力を振り返り、活用していく計画を考えることを予告しておく。</p>
---	--	---

(4) 板書計画

③

ビーバーにとって、す作りも大工事です。なぜなら、…(な)くふうをしているからです。

**す作りたつ人!**

す作りはいのちを守る『大』せつな工事!

【空から見た図にすると…】

図①

図②

図③

すのいちは?  
大きさは?

す作り

- ・入り口を水の中にして、てきが入ってこられないようにする。
- ・すを作るために、ダムも作っている。

ダム作り

- ・ダムができるからみずうみができて、すが作れる。
- ・ダムのできるみずうみのおかげで、あんなすになる。

④

ビーバーの大工事 なかがわしろう  
ビーバーにとってすを作ることは「大工事」なのだろうか?